

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【公表番号】特表 2001-525873(P2001-525873A)
【公表日】平成 13 年 12 月 11 日 (2001.12.11)
【出願番号】特願 平 10-549539
【国際特許分類第 7 版】
C 1 0 G 9/20
【F I】
C 1 0 G 9/20

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 4 月 26 日 (2005.4.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書 (自発)

平成17年4月26日



特許庁長官 殿

1. 特許出願の表示 平成10年特許願第549539号

2. 補正をする者

名 称 ストーン アンド ウェブスター プロセス
テクノロジー, インコーポレイテッド
(外1名)



3. 代 理 人

住 所 〒535-0003 大阪府大阪市旭区中宮4丁目10番12号

【連絡先 丸山国際特許事務所 TEL 06-6951-2546】

氏 名 (6672) 弁理士 丸 山 敏 之



4. 補正の対象

請求の範囲

5. 補正の内容

別紙のとおり

封 入



請求の範囲

1. 輻射加熱型チューブのアッセンブリであって、
輻射加熱型チューブを複数具えており、各チューブは、入口側管体と、該入口側管体とは逆方向に延びる出口側管体を具え、入口側管体と出口側管体はU字状コイル部によって連通されており、
輻射加熱型チューブは、任意の1つのチューブの入口側管体が、他の1つのチューブの出口側管体の直ぐ近傍に間隔をあけて配置されている輻射加熱型チューブのアッセンブリ。
2. 熱分解炉の加熱室の内部にて、複数の輻射加熱型チューブの入口側管体と出口側管体の吊下げ部を具えている請求項1の輻射加熱型チューブのアッセンブリ。
3. 各チューブの出口側管体は、炉の加熱室の外側位置で終端する請求項2のアッセンブリ。
4. 炉の加熱室の外部には、予熱された炭化水素原料を受けるためのマニホールドが配備されており、炭化水素原料は、マニホールドから、供給ラインを経て、チューブの入口側管体の各々へ送給される請求項3のアッセンブリ。
5. 炉の加熱室の外部には、チューブの出口側管体から出てきた分解生成物ガスを受ける冷却器が配備されている請求項4のアッセンブリ。

6. 複数のチューブの入口側管体と出口側管体は、加熱室内で共通の平面内にあり、輻射熱は床バーナより加熱室内へ供給される請求項2のアッセンブリ。
7. 入口側管体と出口側管体の間隔は略均一である請求項6のアッセンブリ。